

2020年度業務実績報告書

提出日 2021年1月19日

1. 職名・氏名 助教・平井 宏美

2. 学位 修士、専門分野 看護学、授与機関 新潟医療福祉大学大学院、授与年 2014年

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 ・基礎看護学実習Ⅱ（2）2年前期	
②内容・ねらい 受け持ち対象者の個別に即した看護を認識し、計画的に看護を実践、評価するという看護過程を展開するための基本的能力を習得する。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 初めての受け持ち実習となるため、学生の学びを引き出しながらより良い実習体験ができるように関わる。	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 ・母性看護学（2）3年前期	
②内容・ねらい 妊娠期、分娩期、産褥期の母親とその子（胎児・新生児）の身体的、精神的、社会的側面からその特徴を概説し、ウェルネスの概念に基づき、健康上の強みを視点においた看護の必要性和具体的援助の実際について講義および演習を行う。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 骨盤模型や新生児モデルを用いて、学生がイメージしやすい授業展開を取り入れている。	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 ・母性看護学実習（2）3年後期	
②内容・ねらい 周産期にある母子とその家族を対象として、看護アセスメント・看護計画立案・看護実践と評価を行い、基本的な看護実践能力を身につけるとともに、母性の特性と母性看護の役割について理解を深める。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 受け持ち対象者に沿った看護、特にウェルネスの観点から看護の必要性を考えて実践できるように指導する。また、学生の実習体験がグループ全員で共有できるような関わりを持つ。	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 ・母性看護発展セミナー（2）4年前期	
②内容・ねらい 昔から受け継がれてきた妊娠・出産・産後・産育習俗の特長を理解し、現代あるいは将来に向けた母性看護の視点を深める	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 福井を含めた北信越地域の内容を分析し、発表を通して全員で共有する。	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 ・卒業研究（3）4年通年	
②内容・ねらい 母性看護領域に関する研究テーマにおいて、卒業論文を作成する過程で科学的思考力を養い、自ら探究する態度と研究能力の基礎を身につける。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 学生の興味・関心あるテーマから研究の視点を見出し、研究のプロセスが理解できるように	

関わりを持つ。また、教員と学生全員でディスカッションすることで、多様な考えを知ったり、思考の整理ができるようにサポートする。

(2)その他の教育活動

内容

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
①著書	【 本】
②学術論文（査読あり）	【 本】
③その他論文（査読なし）	【 本】
④学会発表等	【 件】
⑤その他の公表実績	【 本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等	

5. 地域・社会貢献活動

- ・敦賀高校の開放講義：進路探究講座、zoom によるオンライン講義、R2.10.27

6. 大学運営への参画

(1)補職

(2)委員会・チーム活動

- ・看護学科科内委員：1年生副担任 R2.5～現在に至る
- ・看護学科科内委員：親睦係 R2.4～現在に至る
- ・看護学科科内委員：実習検討委員 R2.4～現在に至る

(3)学内行事への参加

- ・令和3年度大学入試共通テスト問題冊子等の仕分け作業 R3.1.7
- ・令和3年度入学者選抜（一般選抜）救護員（予定）前期日程 R3.2.25
- ・令和3年度入学者選抜（一般選抜）救護員（予定）後期日程 R3.3.12

(4)その他、自発的活動など